

# 委員会審査報告書

本委員会に付託の議案を審査の結果、下記のとおり決定したので、会議規則第107条の規定により報告します。

平成29年3月9日

三木市議会議長 初田 稔 様

民生生活常任委員長 松原 久美子

記

## 1 議案及び審査結果

議案番号	付託事件名	審査結果
第19号議案	平成28年度三木市一般会計補正予算（第4号） 中、関係部分	原案可決
第20号議案	平成28年度三木市国民健康保険特別会計補正 予算（第1号）	原案可決
第21号議案	平成28年度三木市介護保険特別会計補正予算 （第3号）	原案可決
第22号議案	平成28年度三木市後期高齢者医療事業特別会 計補正予算（第2号）	原案可決

## 2 審査経過

本日、本委員会を開催し、議案を審査した結果、全員一致をもっていずれも原案のとおり可決された。

なお、審査の過程において委員から、自主防災組織の備蓄資機材について定期的な点検を奨励し、食料等の保存期限についても注意喚起するとともに、自主防災組織で備蓄することが望ましい品目を明確にすることで更なる防災活動の推進を図られたい。

また、国民健康保険事業については、人口減少による国保税収入の減少と保険給付費の増加により、今後も厳しい状況が見込まれることから、その対策について全庁的に取り組まれたい。

また、ふるさと納税については、市内の経済効果等を十分に検証し、引き続き本来の趣旨に沿った適正な運用に努めるとともに、さらに魅力ある返礼品の選定について検討されたい。

また、若年者の市内中小企業への雇用促進等を目的に奨学金の一部を支援

する制度を創設されますが、十分に周知を図るとともに、利用者が増えた場合には追加支援を行う等、利用状況に応じた運用に努められたい。

また、バス対策事業については、大規模な改編による利用者数等の見込みに誤りがあったとして多額の補正予算を計上されているが、見直しを行う際には、まず社会実験的に一部を見直し、その結果を十分検証した上で進められたい。

また、住宅耐震化促進事業については、地震対策としてより多くの方に利用していただけるよう、制度の周知方法をさらに検討されたい等の意見、要望があった。